

Several New Forms of Spermatophytes form Central Japan

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-12-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00056209

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



それと比較したため別種としたが、岡山県産の真のキビノクロウメモドキと比較したところ種を分ける程の差はなく清水氏の説が正しいことが判った。本研究に当り岡山県産のキビノクロウメモドキの色々な型の標本を御送惠下さった岡山県の難波早苗氏に

感謝の意を表したい。

附記：九州にクロウメモドキがあるように書いた本があるが、九州産はすべてコバノクロウメモドキで真のクロウメモドキは産しない。

(Received Mar. 4, 1985)

○ 新品種数品について (大原進之助) Jyunnosuke ŌHARA: Several New Forms of Spermatophytes from Central Japan

花色の違い等その変異は小さいが、単なる奇形ではなく、その形質が固定していると考えられる新植物を品種として次のように命名する。

本発表に当って特に御助言、御協力を賜った愛知教育大学生物学教室の芹沢俊介先生に深謝する。

1. ミドリドクダミ 1983年6月愛知県岡崎市大幡町の本多澄夫氏宅に通常品にまじって自生している本品を知った。白色であるべき花弁状の総苞が緑色を呈する。うち一株を移植培養中であるが、1984年の開花期にも全く変化はなく同様の花を開いた。

Houttuynia cordata THUNB. forma *viridis* ŌHARA, f. nov. Involucrum viride.

Nom. Jap. Midori-dokudami (nov.) Hab. Hondo: Owata-cho, Okazaki-shi, prov. Mikawa (leg. Sumio HONDA, Jun. 18, 1983 — Typus in Herb. AICH.)

2. シロガネアオイ フタバアオイの白花品で花被は白色、花柄、葉柄は暗紫色を帯びることなく緑色である。1984年5月20日岐阜県益田郡下呂町門原の山林下に200株ほど群生するのを太田吉一氏とともに発見した。附近には母種の大群落があり、本品は小谷一つを隔てて住み分け、一部は谷にそって約100m 流下して繁殖している。

Asarum caulescens MAXIM. forma *geroensis* ŌHARA f. nov. Planta ut *Asarum caulescens*, Flores albi, petioli et pedunculi virides.

Nom. Jap. Shirogane-awoi (nov.) Hab. Hondo: Kadohara, Gero-cho, prov. Hida (leg. Yoshi-ich OHTA et Jyunnosuke ŌHARA, May. 20, 1984 — Typus in Herb. AICH.)

3. シロバナネムノキ 1965年7月末岐阜県益田郡小坂町鹿山の山林中で発見した1株であるが、純白花を開く。また1980年8月初旬愛知県北設楽郡津具村水梨溪谷でも同様な株を見出した。1983年7月22日再び小坂町を訪れ開花中の本品を採取した。ネムノキの花色の紅さにはかなり濃淡があるが、純白品は稀でしかも株によって固定していることを確認した次第である。

Albizia Julibrissin DURAZZ. forma *albiflora* ŌHARA f. nov. Flores albi.

Nom. Jap. Shirobana-nemunoki (nov.) Hab. Hondo: Kayama, Osaka-cho, prov. Hida (leg. Jyunnosuke ŌHARA, Jul. 22, 1983 — Typus in Herb. AICH.)

4. モモイロラショウモンカズラ 淡紅色花を開くラショウモンカズラの一品で、初め1969年5月愛知県東加茂郡旭町長井坂で発見、次いで1972年6月岐阜県吉城郡上宝村金木戸川上流でも採取した。愛知県産のものは岡崎市内で10年以上も栽培を続けているが、栄養生殖によるものはもちろん、種子散布によって繁殖した株も花色に変化がないことを確認している。

Meehania urticifolia MAKINO forma *rosea* ŌHARA f. nov. Flores rosei.

Nom. Jap. Momo-iro-rashomonkazura (nov.) Hab. Hondo: Nagaizaka, Asahi-cho, prov. Mikawa (leg. Jyunnosuke ŌHARA, May. 10, 1981 — Typus in Herb. AICH.)

5. ミドリバアソブ 1970年9月バアソブの一品を岡崎市須淵町で発見した。通常品にある暗紫色点もほとんどない黄緑色の花冠をもつ株である。その後1980年、1981年続けて同地附近で千賀敏久氏及び都築孝太郎氏が再び同様な形質の株を採取した。

Codonopsis ussuriensis HEMSL. forma *viridiflora* ŌHARA f. nov. Corollae flavovirides.

Nom. Jap. Midori-bawasobu (nov.) Hab. Hondo: Subuchi-cho, Okazaki-shi, prov. Mikawa (leg. Jyunnosuke ŌHARA, Sep. 9, 1970 — Typus in Herb. AICH.)

(〒444愛知県岡崎市柱町稻荷22, Hashira-machi-inari 22, Okazaki-shi, Aichi Prefecture 444) (Received Jan. 12, 1985)